

1. ホームドア

①ホームドア整備に対する現状、課題、全体計画等

- 現状
当社が管理するりんかい線全7駅中、5駅に整備
(2018年度:国際展示場駅、2019年度:大井町駅、2021年度:天王洲アイル駅、品川シーサイド駅、2022年度:東京テレポート駅)
- 課題
・ホームドアの設置により、ホーム上の通行に必要な最低幅が確保できないと想定される箇所がある
・ホームドアの荷重を支えるために、ホームの補強が必要な場合がある
- 目標・取組の考え方:
・2025(R7)年度に新木場駅を整備
・東雲駅についても、ホーム構造等(ホームの幅が狭い・ホームの補強が必要)による技術的課題を考慮し整備を検討
・『『未来の東京』戦略』に示された「ホームドアの整備(JR・私鉄):2030年度目標 約6割」に対して、当社管理駅の7割が整備済みである。

②各駅の計画

<利用者10万人未満駅>

駅名	路線名	事業期間	優先整備の視点		整備状況 (令和6年3月末時点)
			駅周辺の特性	駅の特性	
新木場駅	りんかい線	令和5~7年度	・スポーツ施設、公園が複数立地	・JR東日本・京葉線、東京メトロ・有楽町線との乗換駅 ・島式ホーム ・階段付近はホームが狭隘	事業中 令和5年度 ホーム補強工事完了 令和6年度~ ホームドア本体工事着手予定
東雲駅	りんかい線	未定	・保育所、病院等の福祉・医療施設が集積	・相対式ホーム ・ホーム端部の幅員が狭隘	全線未整備

<利用者10万人以上駅>

駅名	路線名	事業期間	整備状況 (令和6年3月末時点)
(該当なし)			

2. エレベーター

①複数・乗換ルート整備に対する現状、課題、全体計画等

- 現状:
当社が管理するりんかい線全7駅中、東京テレポート駅で増設し、改札内外で複数ルートを確保。すでに当社が管理するりんかい線全7駅で1ルート確保済み
- 課題:
限られた空間内での整備が求められるため、構造上困難な場合があるとともに、他鉄道事業者等との調整も必要
- 目標・取組の考え方:
乗降客の多い駅や通常ルートとBF ルートを比較して大きな迂回が発生している駅等への増設等の可能性について検討

②各駅の計画

<2ルート目以降(複数・乗換ルート)>

駅名	路線名	事業期間	バリアフリールートの整備予定	優先整備の視点		備考
				駅周辺の特性	駅の特性	
東京テレポート駅	りんかい線	令和2年度	ホーム～改札階	・大規模複合商業施設が集積 ・公共施設や文化施設、イベントホールが立地	-	整備済(2020.4)
大井町駅	りんかい線	未定	コンコース階～中間連絡通路階	・品川特別支援学校の最寄り駅	・駅周辺地域で高低差があり、既存の東急大井町線大井町駅へのバリアフリールートが駅周辺を大きく迂回するルートとなっている。	・東急大井町線大井町駅改札階～中間連絡通路階は既存EVがあるため、コンコース階～中間連絡通路階へEVを新設し、東急大井町線大井町駅へのバリアフリールートを整備する。 ・駅周辺で再開発事業実施中 ・品川区役所が東急大井町線大井町駅改札側の駅近くへ移転を計画中